

編集後記

2016年4月1日に施行された障害者差別解消法は、障害を理由とする差別をなくし、人びとの共生する社会の実現を目指している。そのため求められるのが、社会的な障壁を取り除くための「合理的配慮」である。本号では、その合理的配慮について研究する広瀬浩二郎准教授の共同研究をもとに特集を組んでいる。今回の特集の本文では、この機会をお借りして、ユニバーサルデザインを志向するというUDフォントで試行的に組んでみた。読者諸氏のご意見を賜りたい。

ところで広瀬氏の研究室は、小生の隣の部屋にある。よく出張されているなどは思っていたものの、今回の特集記事のそこかしこに顔を出すのを見るにつけ、これほど精力的に動きまわっていたのかと小生のなまけものぶりを反省した次第である。

今号から「手芸考」が終わり、映像を主題にする「シネ倶楽部M」が始まる。こちらの連載も楽しみにしていきたい。(丹羽典生)

●表紙：視覚障害者と健常者が一緒に、大阪谷町空堀通りを触って歩く「まちあるき」(2014年、撮影：山本清龍)

次号の予告

特集

「お金を数える」(仮)

みんなぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんなぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんなぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんなぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんなぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

月刊みんなぱく 2018年4月号

第42巻第4号通巻第487号 2018年4月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欒 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

